

金沢市の 部活動地域移行・ 地域展開に向けて



金沢市運動部活動地域移行コーディネーター

布村 一雄

はじめに

運動部活動地域移行コーディネーター

布村 一雄（ぬのむら かずお）

（略歴）

- ・ 金沢市立泉中学校校長、金沢市立長田中学校校長、
金沢市立高岡中学校校長を歴任し、令和6年3月に退職
- ・ 在職中、金沢市中学校体育連盟会長や金沢市立中学校
校長会会長などを務めた
- ・ 令和7年4月から、金沢市運動部活動地域移行
コーディネーターとして金沢市スポーツ振興課で勤務

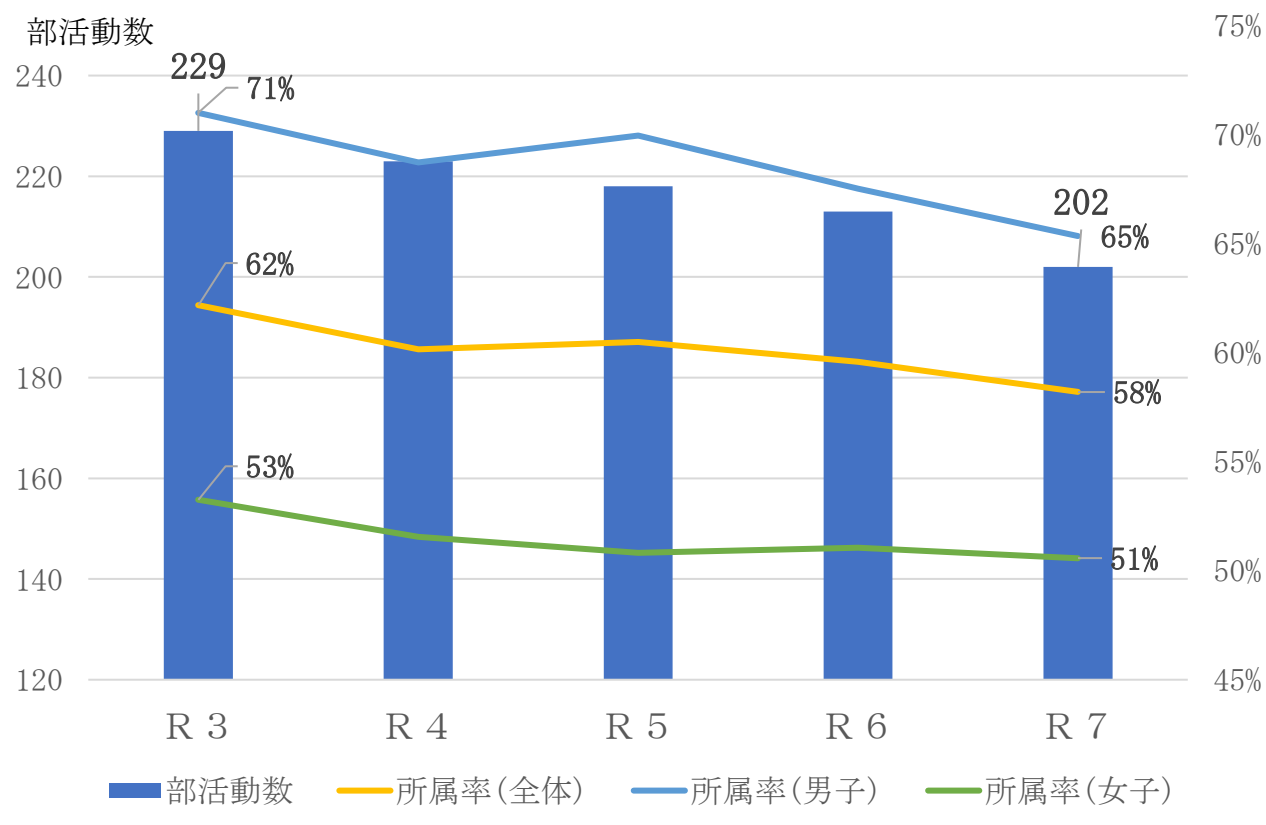
少子化と競技が抱える課題

金沢市住民基本台帳に基づく年齢別人口

- 現在の13歳人口が**4,108人**であるのに対し、
1歳は**2,641人**と、12年間で**約30%減少**
- 10年後の中学生の人数は、**9,000人**を割り込む見込み
※参考 市立中学校生徒数 10,695人
(令和7年5月1日現在)



運動部活動数と所属する生徒の割合の推移



(金沢市中学校体育連盟調査をもとに作成)

○生徒数減少によって、以下の課題が生じている。

- ・ 団体競技のチームが編成できない
- ・ 部活動数が減少し、希望競技がなくなる

○運動部活動所属生徒の割合の減少傾向

- ・ 民間クラブ（中体連外の種目等）に所属する生徒の増加

→今後更に学校という枠でのチーム編成が困難に。

中体連主催大会に参加する地域クラブ（※）が
ますます増加

（※） R 6 20団体 → R 7 35団体

(参考) 過去5年間の所属生徒数の増減・増減率

	所属生徒数 (人)			増減率
	R 2	R 7	増減	(%)
陸上(男)	431	421	△ 10	△2%
陸上(女)	343	285	△ 58	△17%
水泳(男)	68	32	△ 36	△53%
水泳(女)	46	29	△ 17	△37%
バスケットボール(男)	711	770	59	8%
バスケットボール(女)	375	344	△ 31	△8%
サッカー	632	614	△ 18	△3%
ハンドボール(男)	154	157	3	2%
ハンドボール(女)	123	134	11	9%
軟式野球	571	548	△ 23	△4%
体操(男)	2	1	△ 1	△50%
体操(女)	4	1	△ 3	△75%
新体操	11	3	△ 8	△73%
バレーボール(男)	219	257	38	17%
バレーボール(女)	546	607	61	11%

※網掛け：減少傾向が顕著な競技

	所属生徒数 (人)			増減率
	R 2	R 7	増減	(%)
ソフトテニス(男)	537	417	△ 120	△22%
ソフトテニス(女)	534	553	19	4%
卓球(男)	638	551	△ 87	△14%
卓球(女)	340	254	△ 86	△25%
バドミントン(男)	242	187	△ 55	△23%
バドミントン(女)	514	473	△ 41	△8%
ソフトボール(女)	255	155	△ 100	△39%
柔道(男)	55	39	△ 16	△29%
柔道(女)	32	13	△ 19	△59%
剣道(男)	140	103	△ 37	△26%
剣道(女)	131	77	△ 54	△41%
相撲	17	13	△ 4	△24%
弓道	49	40	△ 9	△18%
スキー	3	6	3	100%
総計	7,723	7,084	△ 639	△8%

(金沢市中学校体育連盟調査をもとに作成)

学校部活動の状況

～学校の想いと抱える課題～

1. 魅力ある職業「教員」の危機

- ・ 時間外勤務45時間への壁

※参考 中学校教員45H以上の時間外勤務

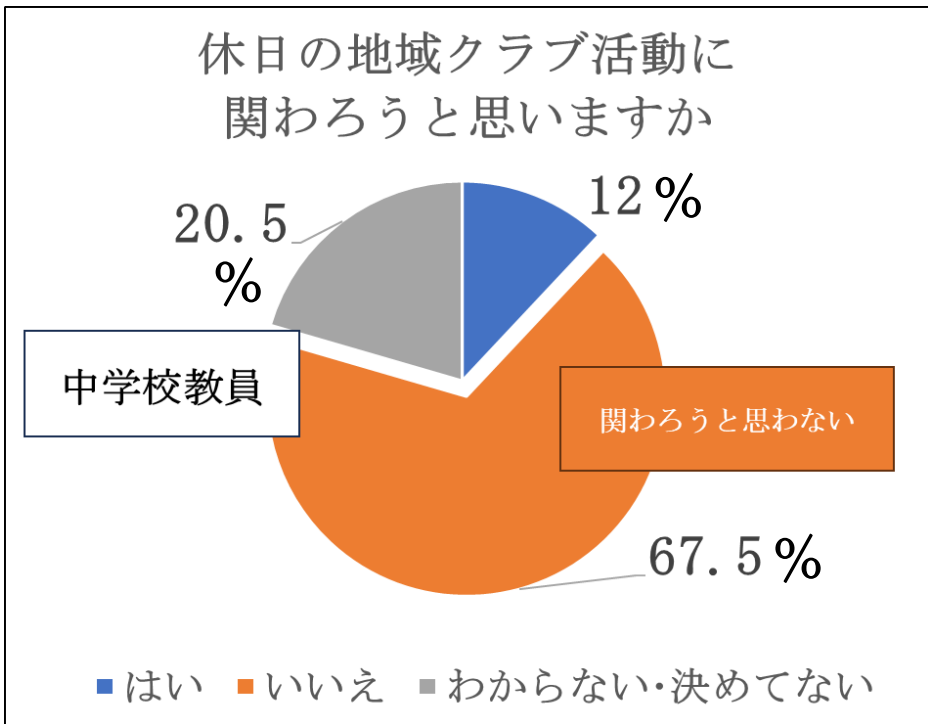
R5年度 44.4%

R6年度 42.8%

- ・ 部活動顧問業務への負担感
(休日出勤 他)

2. 部活動の教育的意義

- ・ 学校での成長との関わり
- ・ 「都立青鳥特別支援学校」の甲子園チャレンジ



(令和5年度 金沢市教育委員会 休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果から)

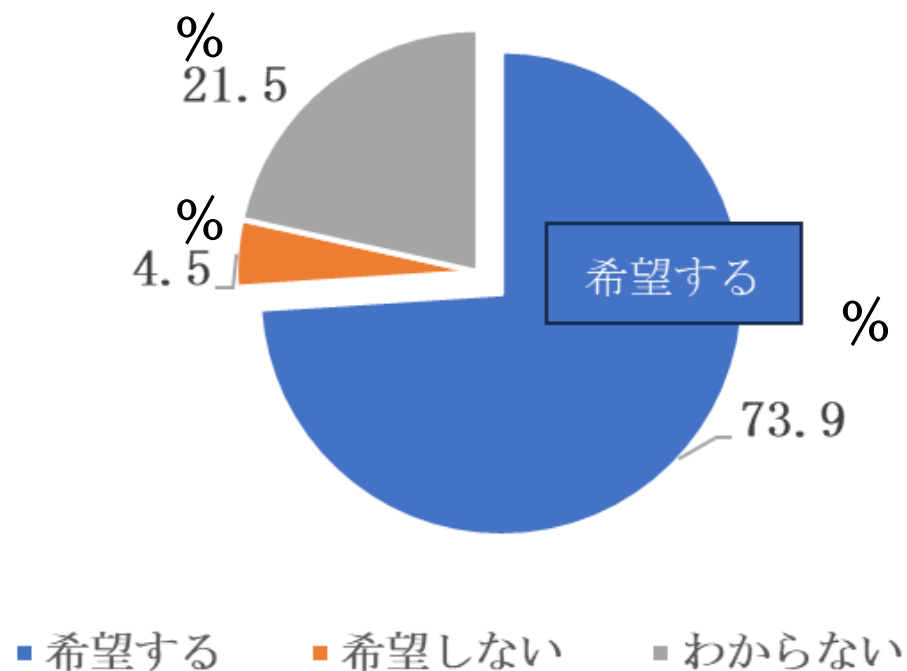
機会を与えること。それは、子どもたちへの教育で最も重要なことのひとつだろう。最初から「できない」と決めつけるのではなく、大人たちが「どうすればできるのか」を考え、環境を整える。そうすれば、子どもたちの可能性は広がっていく。

(令和7年8月7日付け「Yahoo!ニュース」より)

(令和5年度 金沢市教育委員会 休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果から)

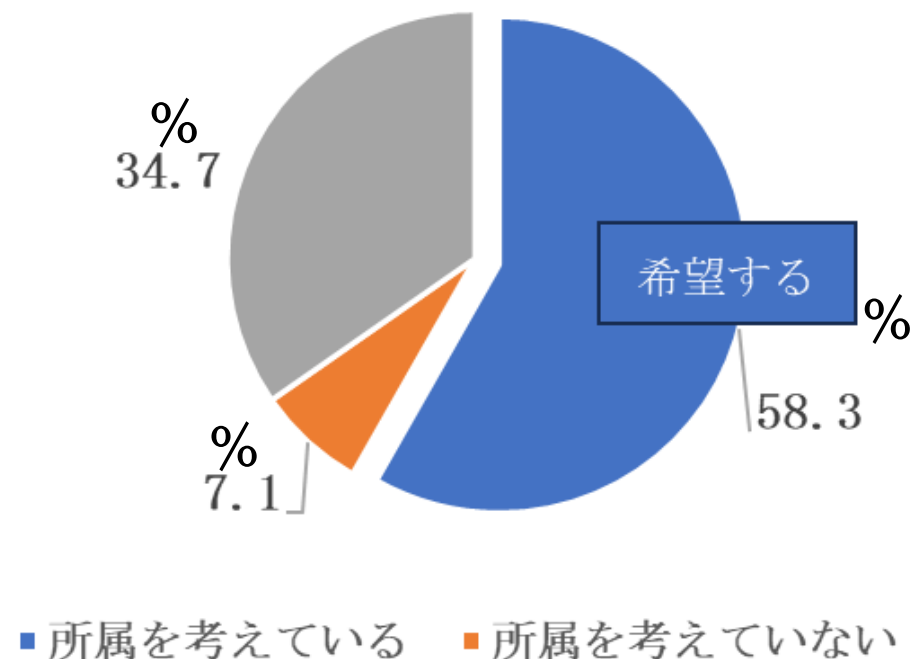
小学生指導の保護者

お子さんが中学生になったら、部活動に参加
することを希望しますか



小学校5．6年生児童

中学生になったら、部活動への所属を
考えていますか



3. 次期学習指導要領における部活動の位置づけ

コーディネーター活動報告

○モデル事業実施に向けた学校・競技団体等との打合せ、大会視察、保護者会への出席



○モデル事業の視察



○全国会議への出席・意見交換、情報発信

運動部活動地域展開推進シンポジウム

[主催] 群馬県教育委員会

[日程] 令和7年8月1日(金)・2日(土)

[会場] Gメッセ (群馬県高崎市)

金沢市教育委員会「かけはし」

全小中学生の保護者向けに

配布する情報誌で現状を報告

(令和7年7月号)



コーディネーターとして感じていること

1. モデル事業の中で

○子どもが求めるもの

- ・ 豊富な選択肢
- ・ 人間(仲間)関係
- ・ 技術の向上

○競技団体の思い

- ・ 競技への熱い思い
- ・ 楽しさを伝えるチャンスと捉える前向きな姿勢

○教員という職業

- ・ 教育者としてのやりがい ～子どもと活動し成長する喜び～
- ・ 持続可能な学校教育 ～献身的教師像という教職観の見直し～

○保護者の求めるもの

- ・ 保護者は、①子どもが求めるもの ②安心・安全な環境 を求めている

2. 大切にしたいこと

○関係者間のつながりの確立

- ・ 休日の学校部活動の方向性に関する共通理解
- ・ 学校と競技団体等との協力体制の構築

○モデル事業からの発展

- ・ モデル事業で新たに生じた課題を改善することで着実に推進
- ・ 競技ごとの特性に応じた柔軟な対応

○金沢らしい地域移行・地域展開

- ・ 子どもは、「関わり育てる」からこそ、感謝し心が豊かになる
- ・ 金沢市の強み（地域コミュニティ、学都など）を生かす

地域展開はチャンス！ ～基本理念は…～

1 子どもが安心して活動できる機会の創出

- ・ 全ての子どもたちへの活動機会の保障
- ・ 現行部活動の「教育的意義」の継承

2 地域と学校が連携し、子どもを支え、育む場となるように…

- ・ 地域での自己有用感の育成(地域コミュニティの更なる醸成など)
- ・ 未来の地域を支える力の育成(未来を創る人を育むまちの実現など)

3 金沢市全体への展開 ～社会全体が当事者として～

- ・ 教員の業務負担軽減（学校とは独立した場であり、つながる場である）
- ・ 「今」できることでなく、今から作り上げ育てていく社会